

令和6年度水道事業会計予算編成にあたって

富田林市長 吉村 善美

令和6年度水道事業当初予算は、私が富田林市長に再任された後に臨む初めての当初予算となります。私が所信表明において、市民の皆さまに約束した、富田林版「こどもまんなか社会」の実現をはじめとする2期目の公約実現に向けて動き出すための重要な予算編成です。

昨今の原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギー価格・物価の高騰など厳しい経営環境の中でも、将来へ負担を送ることのないように、今のこどもたちに負担を強いることのないように水道事業を安定的に経営していくことが求められます。

私の政治信条である、「市民とともにつくる、市民が幸せになる、市民本位の市政」の実現に取り組み、誰もが「富田林に生まれて良かった、暮らして良かった、長生きして良かった」と思っていただけ富田林の創造に向けて、「一つ、ひとつ、未来へ」形づけていくため、まい進していく決意に揺るぎはありません。

令和6年度予算編成に当たっては、決算の傾向もふまえて要望を行い、より効率的な予算とするよう、必要な事業を精査し、重要度、優先度に応じて選択と集中を行ってください。事業と財源のバランスに視点を置いた「富田林市水道事業ビジョン」は、予算編成時の重要な柱で、予算は必ずこれを踏まえたものとしてください。

水道事業の財源の根幹である給水収益については、令和3年10月に料金改定を行ったものの、人口減少に伴い、今後減少傾向が続きます。非常に厳しい経営状況であることに変わりはありません。

一方、費用についてみると、管路だけでなく配水池の更新も進めているため、資金需要の増大が顕著になっています。また、送水管の破損、濁水のリスクなどのほか、物価も急激に高騰しており、費用がさ

らに増大する可能性も考慮して予算編成を行わなければなりません。
事業の重要度、優先度を十分に精査するようにしてください。

水道事業は市民生活の要であり、安定的な経営を維持していくことは、市民への大きな責任です。職員一人ひとりが事業経営を担う意識をしっかりと持って、予算編成に臨んでください。

(財政状況と見通し)

令和4年度の給水収益については、減免相当額を加算した金額として、前年度比約4.7%増となりましたが、有収水量においては2.2%減となりました。料金改定による収入増が一時的に見込まれるものの、有収水量の減少傾向は今後も続くため、厳しい財政状況は変わりません。物価高騰による経営への影響も先行きがいまだ読めず、予断のできない状況が続いています。その他の収益についても増加は見込めません。今後の更新に備えて、財源の確保と支出の抑制が重要となります。

(予算の基本方針)

「安全・安心」の強化を進めるため、富田林市水道事業ビジョンに基づき、引き続き富田林市地域防災計画で重要施設と位置付けられている施設等への配水ルートや配水池、主要な管路等の基幹施設から優先的に更新・耐震化を進めます。

編成にあたっては重要度、優先度を考慮した無駄のないものとし、事業の実施にあたっては、複数の手法を比較検討し、コスト削減に努めるように十分に心がけてください。

以上、令和6年度予算編成の基本方針とします。